



サポーターさんのお話

日々の様子

春の日差しの中で～

10時になると離乳食を持ってお孫さんを連れてくるCさん。7か月なのにもう伝え歩きやハイハイをして、たくましいなちゃん。お昼には手づくりのお弁当のタップ2杯をぺろり。



夏休みの出来事

・雨の日以外は毎日プールに水をはります。水遊びはもちろん泥んこ遊びも自由です。お母さん達も手慣れたもので、着替えを何枚も用意してきて、汚れたらさっと小脇に抱えてシャワー室へ。あっと言う間に着替えて、また飛び出して行きます。クーラーはありません。自然の風の通り道を選んで布団を敷いて昼寝をします。森っ子の先輩、小学生も遊びに来ます。

・一緒に本を読んでいたサポーターさんに「あね。僕のお母さん今日誕生日なんだよ。」「ホントだよ」と言う兄弟。「じゃあお母さんにケーキを作ってプレゼントしようか?」と提案。早速裏紙やクレヨン折り紙と側にいた子供達も一緒に紙のケーキを作り。みんなでお母さんの後ろへ行き「お誕生日おめでとう」とケーキを差し出すとビックリ仰天!! (・O・) ハッピーバースディの合唱が始まると、みるみる笑顔に (^v^ ) そのお母さんの笑顔が素敵で 幸せが部屋いっぱい広がってきました。

・腰かけて、砂場で遊ぶお子さんを見守っていたお母さん、しばらくすると温かい春の日差しに、こっくり、こっくり。するとその子は部屋に入り母親の足元で絵本を見てひとり遊び。その間その子に危険はないかとそっと見守りながら・・「子もりは子まもり、子見守り」という言葉がふと浮かんだ。(保育サポーター)



利用者さんのお話

子育て講座

「うちの子、少食なんですけど・・」と心配げなお母さん。すると講師が「皆さんの少し教えてもらえますか?」と全員に聞く。スプーン一杯からお茶碗半分まで色々。

「ね!人によってこんなに違うんですよ」と言いながら質問者の不安を取り除いて行く。最後には「ご主人家事や育児、手伝ってくれますか?」の問いかけに「いいえ」「全然」「うちも!」「うちも!!」と笑い声も混じりざっくばらんに話します。

Q&A 参加者に質問

どうしてこの講座に参加しようと考えたんですか?

「つまります。子供と二人っきりで家の中だけで過ごしていると、何だかつまってしまうというか・・・。でもここに来ると ああみんな私と同じだ。と思えて安心できます。



利用者さんのお話

日々の会話の中で

小麦粉粘土の作り方

小麦粉に少しずつ水を加えて耳たぶくらいのやわらさになったら食紅で色をつけていきます。

この色つけ作業が根気があるなと思っていたら・・・後ろの方からお母さん達の話声が聞こえてきました。

親指で思いきり粘度をこねながら「これってストレス発散にいいね。」「うん。旦那とけんかした時にいいかも」と、その人はボウルに粘度をあてながら楽しく作っていました。

たまには、皆さんも?作ってみてはいかがですか?

## インタビュー。

先生やサポーターさんにお聞きしました。「このおやこの森で仕事をする時に心がけている事ってありますか。」

※人を大切にする。(みなさん同じ事を言われてました)

※ホッと一息つきませんか？

※命の大切さを知る。

※リラックスしてもらえればいいな。(お母さんがここに来て)

※新しく来た人に溶け込みやすい雰囲気作り。声かけ。よりせい。横のつながり。

※子供には子供の目線で話す。

※気配り。初めてのお母さんが行って良かったと思えるように。

※元気いっぱい遊ばせてあげられるといいですね・

◎みなさんそれぞれとても素敵な笑顔で話してくれたのが印象的でした。

S君に可愛い妹が産まれました。

お母さんの首に巻きつき寂しいよと言ってたS君。本当に可愛い女の子が産まれました。

お兄ちゃんになったS君の、愛情表現は、わざと可愛い妹のMちゃんの頭をポンとたたいては、にげ、逃げてはたたき、ちょっかいを出す事。ママの眼を盗んで。

その度にワーンと泣いては、ママに叱られ、1才のMちゃん必死で涙を堪えてたえています。

1週間後そのMちゃんが、反撃にでました。私が家に入るや否や、物凄い大声で「ダメー」というMちゃんの声。「コラ～S!叩いたらだめって言ってるでしょ」とママの声。

Mちゃんは自力で自分の危機を乗り越えていました。